



れんげそう

令和6年1月9日
福生第五小学校
学校通信第557号

良い年に

校長 泉田 巧人

令和6年に入り、1月1日には能登半島に震度7の大地震が起き、1月2日には、羽田空港で海上保安庁機と民間航空機の衝突炎上事故が起こるなど、各地で様々な災害に始まる年となってしまいました。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心から



拝島駅から見る新年の富士山

お見舞い申し上げます。これらの災害において、航空機の事故では、民間機の乗客367人、乗務員12人全員が無事避難し、一人も命を落とすことがなかったことが救いでした。無事に避難できたのは、客室乗務員の日々の訓練にあるといわれています。災害はいつ起こるか分かりません。本校は、昨年度と今年度に、子どもたちと共に災害安全について学んできました。御家庭においても防災の意識をもち災害に備えていただけると幸いです。

さて、令和6年がスタートいたしました。「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」とよくいわれます。一日の計画は早朝のうちに立て、一年の計画は元旦に立てるべきであるということで、物事は最初が肝心であるというたとえです。計画や目標は、最初にしっかりと立てておくことが大切なのです。皆さんは、今年目標を立てましたでしょうか。一年の目標を立て前向き過ごすため、私の家では、元旦の朝に家族全員でおせち料理を食べながら、今年の抱負を一人ずつ発表し合いました。私の今年の抱負は、様々なことに挑戦していくと発表しました。家族からは、具体性がないと批判されましたが、一つ一つより良くしていく年にしたいと思っています。

今年を十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）で表すと、甲辰（きのえたつ）です。「甲」は物事の始まりという意味をもっています。「辰」（龍・竜）は十二支の中で唯一架空の動物で、龍は縁起のいい生き物とされています。辰年は、成長の年であるとともに、これまで努力をしてきたことが飛躍し、更に成長が期待できる年といわれています。福生第五小学校にとって様々な形で皆の努力が報われ飛躍し、成長できる良い年になればと願っております。保護者の皆様や地域の皆様には、御協力をお願いすることも多々あるかとは思いますが、どうぞよろしく願いいたします。本年が、皆様にとりまして良い年となりますようお祈り申し上げます。